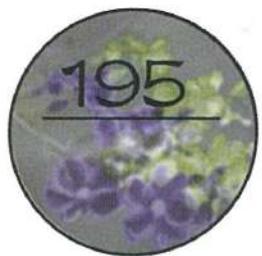


令和6年8月31日発行（季刊）

ISSN 0913-9680

公益財団法人

たましん地域文化財団



多摩のあゆみ



特集 歴史・地理の調べ方案内

柿崎 覚「青い水のある風景」

特集

歴史・地理の調べ方案内

- なぜこのようなところにマンションが? 柴田 祥彦 / 4
　　「昔の三鷹を探つてみる」
- 高校生が考える安全安心な街づくり 中山 秀晃 / 12
　　「居住地の防災力診断レポートを使って――」
- たましんの店舗の移り変わりを地図化する 加藤 一郎 / 24
　　「福生には、なぜ外国人が集うのか」
- インタビュー調査をもとに 後藤 賢 / 36
　　「横浜市の人口の特徴をGISを使ってとらえよう」：井上明日香 / 48

連載

- 洋風建築への誘い 第八十四回 伊藤 龍也 / 58
- 玉川上水の流れ・橋・建物 その9 酒井 哲 / 64
- 建物雑想記 No.79 馬場 憲一 / 70
- 上羽生家・離れ座敷
- 古文書は語る（その七〇）
- 名刹の高僧から古刹大悲願寺住職への書状
- 「大悲願寺所蔵文書「觀智国師書状」より」

多摩のあゆみ

195号／目次

多摩の金融史 28

●明治期の多摩の特定郵便局

田中 光 / 76

多摩の歴史を立体視！ —赤色立体地図の風景— 22

●武蔵村山市三ツ木地区の防空壕群

高田 春香 / 88

本の紹介

●工学院大学建築学部建築デザイン学科初田研究室編

『三鷹』線人道橋調査報告書

小野田 滋 / 96

●「秋川の石垣鑑」編集委員会編

『秋川の石垣鑑』

本間 岳史 / 98

●入手資料のごあんない

●「歴史資料室年報」刊行のお知らせ

●多摩の歴史講座（第27回）のごあんない

●中央大学史資料館主催シンポジウムのごあんない

●デジタルアーカイブの公開

●たましん地域文化財団よりご寄付をお考えの皆さまへ

●たましん美術館のごあんない

●たましん歴史・美術館のごあんない

●編集後記

編集後記

高等学校で令和四年度から必修化された「地理総合」「地理探究」は、昔々の「暗記科目」ではありません。G I S（地理情報システム）、国際理解教育、防災教育を柱とする「考える科目」です。それは難しいことではなく、「自分の住む地域、国、世界を、自分なりにいかに調べて理解するか」の楽しい学びです。地理の先生方はその楽しみ方を何よりご存知です。特集「歴史・地理の調べ方案内」では、高等学校地歴科の先生方のグループ「地理教材共有化の会」の方々に、多摩地域をいかに調べて楽しみ、理解するかの事例をご紹介いただきました。高校生のお子さんを持つ皆さまには、お子さんが学校で現在、「地理」をどのように学んでいるかを、本特集から感じていただけだと思います。

* 定期送付の号数について*

定期送付している方の封筒宛名ラベル右下「一般***」は、***号まで送付料金をお預かりしているということです。送料切れ号には、お知らせ状を同封いたします。継続の目安にご覧ください。

本特集特設ページが作られました。
URL : <https://bit.ly/4fjUhQn>

このURLと二次元コードでアクセスできます。



先生方が各論考で紹介したG I Sの使い方やデータなどを閲覧できます。

秋からはじまる「多摩の歴史講座」は「近郊別荘と多摩」がテーマです。明治・大正期の武藏野ブームによつて多摩地域は東京近郊の別荘地として注目を浴びました。多摩川や崖線・湧水などの豊かな自然景観と風土を活かした別荘文化をご紹介します。見学会では、通常非公開の泰山荘（国登録有形文化財）を解説つきでご覧いただけます。講座内容や申込方法などの詳細は一〇六頁をご確認ください。

本誌をご希望の方に

季刊『多摩のあゆみ』は、二、五、八、一一月の末日発行です。本誌の誌代は無料です。たましん本・支店の窓口、国立支店建物内の当財団でお受けとりいただけます。

多摩のあゆみ 第一九五号
令和六(2024)年八月三一日 発行
発行 公益財團法人
たましん地域文化財団
編集 歴史資料室

〒186-8686

国立市中一十九一五二

T E L ○四二一五七四一三三六〇

F A X ○四二一五七七一五〇七〇

<https://www.tamashin.or.jp>

印刷

株式会社 めよつけい